



ルクス・エナジー

中国深圳にLED工場

品質向上へ合併会社設立

発光ダイオード(LED)照明の生産に乗り出し、照明開発のルクス・エナジー(新潟市中央区)と合併会社を設立し、LED生産能力も5倍以上に高

め、東日本大震災後の節電意識向上による需要増にも対応する。2年前から自社で設計し中国の委託先で製造していた。だが、日本で求められる品質に込めるためには、自前の検査システムをそろえた工場での生産が必要だと判断した。

同社は中国企業など4社で合併会社「ルクス・エナジーチャイナ」を6月末に設立。ルクス・エナジーは29%(約120ナシ)は29%(約120ナシ)の直管形照明の検査も行う。委託製造時よりコストを2〜3割減らすことが可能になり、大手家電メーカーのLED照明に比べ価格を半値近くに抑

え。同社は生産増で2012年6月期は売上高8千100万円を見込む。現在、日17年6月期には同8社生産までつベンチャー化し、高品質と低価格を本にある15の販売代理店へ展開を目指す。渡辺和市長は「LED照明の自働をきっかけに産業を強い」と話した。

え。同社は生産増で2012年6月期は売上高8千100万円を見込む。現在、日17年6月期には同8社生産までつベンチャー化し、高品質と低価格を本にある15の販売代理店へ展開を目指す。渡辺和市長は「LED照明の自働をきっかけに産業を強い」と話した。